

平成 30 年度 第 1 回意見交換会実施記録

1. 実施結果

- ・開催日時 平成 30 年 5 月 17 日 (水) 19:00~20:30
- ・会場 ラ・ホール富士 5 階研修室
- ・概要 昨年度に引き続き、新環境クリーンセンター循環啓発棟に関する市民との意見交換会。今年度は、環境学習施設に絞って運営や什器備品等に関する意見聴取と、「市民が主役」の施設を目指すための運営主体づくりを 3 回の意見交換会を通して行う。1 回目は、現在の状況や今後の取組み、運営に関する基本的な考え方を説明した後に質疑。その後、6 グループに分かれてオープンまでにやりたいことを付せんを使って、アイデア出しを行った。
- ・出席者 市民 27 名
事業者 3 人 (2 社)、設計施工監理会社 1 人、富士市職員 3 人、進行 1 人 計 35 人
- ・進行 坂本竜児 (NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム スタッフ)

2. 内容

(1) 趣旨説明

- ・今年度前半、3 回の意見交換会を開催し、運営などの意見交換とオープンまでの市民活動計画づくりを行いたい。
- ・2020 年 4 月に建物が完成し、10 月にクリーンセンター、お風呂、環境学習施設がオープンする。お風呂と環境学習施設は、指定管理者として、グリーン工房が管理運営を行う予定となっており、その一部の環境学習施設を「市民が主役」の施設にしたいと思っている。今日は、富士市と指定管理予定者の考えを聞く会。
- ・市民が主役の施設というのは、①いったいこれはどういうことか？②どうやったら実現できるか？③誰がやるのか？について、今まで考えられなかった。また、オープンまでに何が必要かも考えられなかった。今後、みんなで一緒に考えて、実現に向けて行動したい。
- ・活動計画づくりは短い時間になるので中途半端な計画になると思うが、みなさんの力で作り上げることが大切。計画は取り組みながら見直せばよい。1 回目はアイデア出し、2 回目は方針を考え絞り、3 回目はスケジュール化して計画に仕立てにしたい。
- ・1 回目はアイデア出し。2 通りのアイデアだしがある。一つは、現状の課題やわからないことを元に、それを解決するためのアイデア。もう一つはオープンしたときにやりたいことを元に、それをやるために準備期間でどんなことをするかというアイデア。どんなことでも構わない。アイデアは多い方がいい。
- ・活動計画を遂行していくためには予算と人手を確保する必要がある。活動計画をまとめる中にも事務局役は必要。お手伝いをお願いしたい。



会議進行の様子

(2) 運営に関する説明

①富士市より

- ・(リーフレットを用いて) 新環境クリーンセンターの概要、環境学習施設の必要性と目指す姿、環境学習施設のイメージ、これまでの意見交換の内容を紹介した。



富士市からの説明

②指定管理者(優先交渉権者)より

- ・施設運営について、PFI 事業や指定管理で多くの実績があり、「施設に関わっている人が誇れる施設、地域の方に評価される施設」となるよう目指している。いままでは環境学習施設ができた後に運営を担うというやり方だった。富士市のように、施設ができる前から主役になる市民を育成することからやっているのは初めての経験。
- ・以前、「エコット」を視察し、ボランティアが率先して環境教材を作成するなど、感銘を受けた点がある。経験者ということで意見交換会の進行を坂本がやっているが、優先交渉権者としても、アドバイザーとして契約し、運営準備を進めていきたい。
- ・施設は市の要求水準を満たす運営を行わなければならない。その中で、市民と協働して「つくりあげ」「成長する」施設となるよう、みなさんと一緒に創りあげていきたい。
- ・多くの富士市民が施設に来て、環境学習施設を案内し、市民の皆さんが関心を持ち参加者から活動者に成長するような運営を行いたい。



クリーン工房からの説明

③質疑

- ・市役所は何をやりたいか知りたい。
→市民のやりたいことを尊重して環境学習施設を運営したい。
- ・市役所が事務局を担うべきではないか。
→通常は市役所が事業案をつくり意見を作って進めていくが、今回は市民が事業案を作って、市は実現できるように支援していく。
- ・今集まっているメンバーがどういう人か知りたい。
→本来なら自己紹介をしたいが時間がない。後ほど小グループ内で自己紹介をしたい。自然観察や環境アドバイザーなど環境に関する関心の高い方と一部福祉の関心があって参加している人もいる。
- ・現状は、環境学習施設で何をすることも決まっていなしい誰がやるかも決まっていなしいのか。
→その通り。
- ・現地もエコットも知らないなので、まず知る必要があるのではないか。
→活動計画づくりの中で、やりたいこととして書いてください。

(3) 活動計画づくり「アイデアだし」

- ・アイデアだしの手法を説明し、書いて意見を残してほしいことを説明。
- ・全員で大きな輪になり、1～6番まで番号を言って番号ごとにグループに分かれた。
- ・各自アイデアだしの時間を7分程度とった。
- ・グループの中で自己紹介に続き自分のアイデアを紹介する時間を5分程



アイデアだしの説明

度取った。

- ・各グループの代表者に出てもらい発表するグループをジャンケンで決めた。
- ・1グループのみ発表を行った。

(4) 事務連絡

- ・次回の案内
- ・アンケートのお願い



発表の様子

4. 活動計画づくりに関する意見・提案等

グループワークの付せんを分析すると、以下のような意見が出された。

- ・現地や先進施設の見学、プログラムを開発して実際にやってみる、ビオトープでの観察会やクッキングメニューの開発といった施設での活動に関する具体的なアイデア
- ・施設を知ってもらうためにどうしたらよいかといった広報に関するアイデア
- ・先進的な NPO を見学してボランティア組織づくりを学ぶ、施設の理想像を描く、事務局員を公募するといった施設を運営するために必要なマネジメントに関するアイデア
- ・前回から進展がない、立地が悪く公共交通もないので富士市民は行きにくいといった意見交換会の内容ややむを得ないことに関する意見

以上